

アドバンテージ規則の面白さ

お互いに全力を尽くし合うために、ゲームが途切れないことが絶対条件です。

第7条競技方法の物質的なものと、第8条アドバンテージ規則という精神的なものの両方が合体し機能して初めて競技がスムーズに進行し、本当に楽しめるのです。

試合は大小様々なプレーの歯車(7条)が噛み合って回転することに例えられます。回転のエネルギーはプレーヤーの power です。flair によって歯車の組み合わせの妙が生まれ、アドバンテージ規則(8条)は回転をスムーズにする潤滑油で、それを注入するのはレフリーです。ラグビー競技の主演は勿論プレーヤーである人間ですが、人間の知恵が生み出したもう一人の人間であるレフリーは、楽しいゲームを作り出すためにプレーヤーと協同作業をするのが役目で、16番目のプレーヤーであるとも言われています。

ADVANTAGE は利益、優越という意味ですが、ADVANTAGE LINE という用語がよく使われました。equal condition から公平に始め、競技進行中は利益と不利益のやりとりの戦いです。セットプレーでの利益境界線 advantage line は、以前はスクラム、ラック/モール、ラインアウトそれぞれ現在と違ってボールの線でした。現在は最後線又は10mですから、ボールの線より後ろで、展開をしやすくなっています。一方、オープンプレーも刻々利益追求活動の連続です。プレーの流れの中ではミスのほかいろいろなことが起こります。そんな時の反則のなかったチーム利益優先の思想は人間性豊かな面白い規則です。

レフリーではなく、キャプテンが問題を話し合っ解決した時代には相手のミス、例えばノックオンがあっても、そのミスを味方が逆に有利になるように処理しプレーを続けることは当り前のことであり、キャプテンがアピールしないで、全力で戦い続けました。第7条にあげられている「できることを全力でする」のがスポーツマンとして当然至極のことで、そうした方がずっと楽しくもあるのです。

スムーズに試合が進行するようにレフリーが導入されて、まかされたレフリーはニュートラルなだけミスに対する処置が微妙になりました。そのような場合のルールがアドバンテージローです。

75 Law 8
LAW 8. ADVANTAGE.

- (1) The referee shall not whistle for an infringement during play which is followed by an advantage gained by the non-offending team. An advantage must be either territorial or such possession of the ball as constitutes an obvious tactical advantage. A mere opportunity to gain advantage is not sufficient.
- (2) The only occasions when advantage does not apply are:—
 - when, at a kick-off, the ball is not kicked from the correct place or by the correct form of kick,
 - when the ball emerges from either end of the tunnel at a scrummage,
 - when at a drop-out the kick is taken otherwise than by a drop kick,
 - when a free-kick is void,
 - when the ball or a player carrying it touches the referee.

1971年 競技規則 第8条

IRB

LAW 8 - ADVANTAGE

LAW 8 - ADVANTAGE

DEFINITION

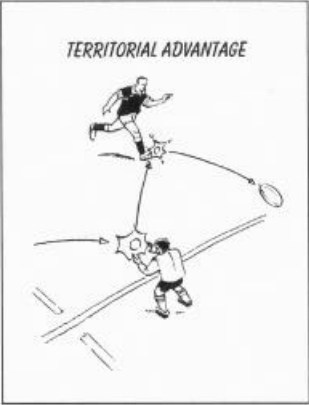
The law of advantage takes precedence over most other laws and its purpose is to make play more continuous with fewer stoppages for infringements. Players are encouraged to play to the whistle despite infringements by their opponents. When the result of an infringement by one team is that their opposing team may gain an advantage, the referee does not whistle immediately for the infringement.

1 ADVANTAGE IN PRACTICE

- (a) The referee is sole judge of whether or not a team has gained an advantage. The referee has wide discretion when making decisions.
- (b) Advantage can be either territorial or tactical.
- (c) Territorial advantage means a gain in ground.
- (d) Tactical advantage means freedom for the non-offending team to play the ball as they wish.

2 WHEN ADVANTAGE DOES NOT ARISE

The advantage must be clear and real. A mere opportunity to gain advantage is not enough. If the non-offending team does not gain an advantage, the referee blows the whistle and brings play back to the place of infringement.



TERRITORIAL ADVANTAGE

35

2000年 競技規則 第8条

1971年競技規則ではレフリーは競技中に反則があってもその結果相手側利益を得る可能性がある場合、笛をふいてはいけない must not と、レフリーへの指示の形をとっています。

2000年競技規則を開いてみましょう。定義を読んでください。最後のところで、「referee does not whistle」となっています。ルールを整理する段階で、プレーヤーむきに分かり易くされました。そして、一方でレフリーは「16人目のプレーヤー」という思想を表面に出してプレーヤーの心がけをただしました。

殆どのルールに優先ということは、プレーヤーが第7条のできることをやっているならばミス以外何も問題がないということで、基本に係わる重要なことです。

プレーヤーは、レフリーは笛を少なくするという目標に向かって努力しているという認識のもとに、反則を減らす努力をしなければなりません。中断を少なくしてゲームの展開継続を図るのが目的にそって、反則しないで、そしてどんな事があっても笛を待たないでプレーし続ける事が大切です。

2006.03.21

西川 義行